

## ラジオ&ながちか体操で心地よい夏の朝

7月29日、総合公園第2自由広場で「みんなでラジオ&ながちか(長親)体操会」が開催されました。

昨年に続き2回目となったこの催しには、508人が参加。平成24年度に作られた市オリジナルの健康体操であるながちか(長親)体操を行いました。その後、参加者は全国ラジオ体操指導委員による効果的な体の動かし方などの指導を受けながらラジオ体操に取り組み、汗を流し、心地よい夏の朝を過ごしました。



## 暑い夏を彩る浮き城まつり

7月29日・30日の2日間、「第24回市民祭・行田浮き城まつり」が開催されました。

祭りのメインである「だんべ踊り」には23チームが参加し、おそろいのTシャツやはっぴなどの衣装を身に付け、45分間元気に踊り切りました。また、祭りの最後には6台の山車が登場。笛と太鼓による力強い祭りばやしで、会場を埋め尽くした観客を魅了しました。



## 楽しく学ぶ初めての将棋

8月1日から3日にかけて、中央公民館和室で夏休み伝統文化体験教室が開かれました。

1日に行われた「はじめての将棋」では、市内の小学3年生から6年生までの24人が参加しました。行田市将棋連盟顧問の森健一さんが将棋の基本的なルールや成り立ちなどを初心者でも分かりやすいように丁寧に解説。子供たちは「矢倉囲い」と呼ばれる戦型に駒を並べた後、森さんのアドバイスを受けながら実際に向かい合って対戦し、将棋を楽しみました。



## 足袋学習の成果を展示

今年度から小学3年生の社会科で副読本「足袋のまち行田」を使った学習を行っています。この学習の中で作成した「学習のまとめ」が8月3日から21日まで中央公民館談話コーナーで展示されました。

授業の中で学んだ行田の足袋作りの歴史や作り方について、子供たちが写真やイラストを用いて分かりやすくまとめました。来館者は市内全16校分の「学習のまとめ」に興味深そうに見入っていました。



## ロビーに響く優雅な演奏

7月28日、市役所玄関ロビーで「市役所ロビーコンサート」が開催されました。

この日は新井理沙さん(ソプラノ)、小池穂波さん(フルート)、小林礼美さん(ピアノ)のグループ「ベル・パエーゼ」が出演。「虹の彼方に」「ふるさと」など全7曲を披露し、訪れた観客は優雅な演奏に、うっとりとして耳を傾けていました。ロビーコンサートは今年度あと2回開催される予定で、「市報ぎょうだ」などで日程をお知らせします。



## かまどで炊いたご飯を味わう

8月5日・6日に、NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークの主催で足袋蔵昔体験セミナーが忠次郎蔵と牧禎舎で開催されました。

参加した16人の子供たちは、実際に足袋蔵に宿泊し、昭和初期の生活や遊びを体験しました。2日目の朝は、全員が交替で火吹き竹を使い、かまどに火を起しご飯を炊きました。炊き立てのご飯を食べた子供たちは「お米がすごく甘かった」、「いつもより朝ごはんをたくさん食べた」と時間と手間暇のかかった昔の朝食に感動した様子でした。



## 3世代で流しそうめんを楽しむ

8月9日、地域交流事業「納涼会inやすらぎの里」が総合福祉会館「やすらぎの里」で開催されました。

3世代交流を目的としたこの催しに1歳から70歳までの40人が参加。プールで遊んだ後、調理実習室に隣接するテラスで流しそうめんを行いました。竹の中を勢い良く流れてくるそうめん子供たちからは歓声が上がり、夏の風物詩を満喫しているようでした。

